

参加無料

事前登録制



外務省

Ministry of Foreign Affairs of Japan

【緊急企画】

ロシアのウクライナ侵略から見る 日本と世界の食料安全保障

2022年3月31日(木) 16:00~18:00

オンライン開催



小田原 潔 外務副大臣

世界的な穀物生産地であるロシアとウクライナ。両国で今起きていることが、世界中で食料問題に影響を及ぼしています。世界の食料サプライチェーンにロシアのウクライナ侵略が与える影響は大きく、決して他人事ではありません。

現代では、国際問題、新型コロナウイルス、気候変動等の新たな課題により、日本及び世界の食料安定供給への脅威が益々複雑化しています。

今回のシンポジウムでは、多様な有識者の参加を得て、これらの影響を一緒に考え、日本の食料安全保障問題の理解を深める機会にしたいと考えています。

食料、安全保障、国際問題に関心のある幅広い層からのご参加をお待ちしています。

プログラム ★日英同時通訳★

1 開会挨拶 小田原 潔 外務副大臣

2 基調メッセージ

マキシモ・トレロ FAOチーフエコノミスト
柴田 明夫 資源・食糧問題研究所代表

3 パネルディスカッション・質疑応答

第1部: 食料安全保障の国際政治

参加パネリスト:

江崎 道朗 評論家・拓殖大学大学院客員教授
岡部 芳彦 神戸学院大学経済学部教授
平澤 明彦 農林中金総合研究所執行役員
兼基礎研究部長

第2部: 今そこにある食料問題

参加パネリスト:

高岡 豊 中東問題専門家
須藤 拓也 双日(株)生活産業・アグリビジネス本部
吉木 りさ タレント(DHCテレビ「ニュース女子」
レギュラー出演)

モデレーター

菊地 信之 外務省経済局資源安全保障室長



マキシモ・トレロ(国連食糧農業機関(FAO)チーフエコノミスト)世界銀行南米諸国グループ理事などを歴任。南米、サブサハラ・アフリカ、アジアを含む貧困世帯や小規模農家を対象に高い実績。



柴田明夫(資源・食糧問題研究所代表)農水省国際食料問題研究会委員など歴任。食料を取り巻く国際情勢、資源・食料問題に造詣が深い。『食糧危機にどう備えるか』等著書多数。



江崎道朗(評論家。拓殖大学大学院客員教授)安全保障、インテリジェンス等の分野のオピニオンリーダー。『インテリジェンスで読み解く米中と経済安保』等出版物多数。



岡部芳彦(神戸学院大学経済学部教授)ウクライナ国立農業科学アカデミー外国人会員、国際ウクライナ学会日本支部会長などの要職に就き、ウクライナの現状を肌感覚で知るウクライナ専門家。



須藤拓也(双日(株)生活産業・アグリビジネス本部 4月より食料事業部長)東南アジア、南米での駐在経験を持ち、長年穀物トレードや飼料畜産ビジネスに従事してきた。



高岡豊(中東問題専門家)元中東調査会主席研究員で、中東地域研究が専門。「ウクライナの危機は中東の食料危機」など、国際的視点に立った鋭い情報発信を行っている。



平澤明彦(農林中金総合研究所執行役員基礎研究部長)食料安全保障政策の専門家。農水省食料安全保障諮問委員会委員。海外の農業政策等を専門的見地から分析。



吉木りさ(タレント)2005年デビュー。幼少より民謡を習い、歌手としても活躍。2019年第1子出産を機に腸内環境と食育に興味を持ち勉強中。

(注:パネリストは五十音順)

参加登録方法: ZOOMのウェビナー登録画面(<https://bit.ly/3qs9Hub>)よりご登録ください。

尚、アクセス数に限りがあるため、お申し込み多数となった場合、事前に登録受付を終了することがございます。